

INDEX

- ・診療部長座談会
- ・特集「新生」呼吸器内科チーム
- ・新任医師紹介・きらめき医療人
- ・正しいマスクの知識

患者さんと向き合い

より良い医療を

4月から新たに診療部長として就任された五十嵐一誠呼吸器内科医師と林泰生消化器外科医師をインタビュー形式でご紹介します。

**常に患者様が自分の家族と
思っ**て接しなさい

―医師として診療される中で意識していることはありますか。

五十嵐 外来ではなるべく患者さんのほうを向いて診察や対話に時間を割きたいと考えています。会議も増えたことにより1日1回しか入院されている患者さんのベッドサイドに行くことができなくなっているのですが、時間のやりくりをうまくして患者さんと向き合っていきたいと思っています。

林 福井医科大学時代の恩師から教

わった「常に患者様が自分の家族だったらと思っ

て接しなさい」という言葉を胸に診療に臨んでいます。また自分が受診する立場となった場合どうするかということも意識しています。

―4月から診療部長となられて約半年が経過しましたが、やはり診療部長とはどのような仕事ですか。

五十嵐 事業管理者をはじめとした病院幹部が決定した運営方針を実行し実現化することが大きな仕事です。内科では消化器内科・腎臓内科・循環器科・内分泌代謝内科・呼吸器

内科・総合診療科などに診療科が分かれており、病院幹部と各診療科の長の先生とを繋ぐことが大きな役割だと考えています。

林 五十嵐診療部長のおっしゃるとおりで、やはり中間管理職！だと思います。外科には脳神経外科・整形外科・消化器外科・乳腺外科などがあります。その他にも診療科があり、上層部と現場の診療科の先生方との調整役が主な仕事だと考えています。

―診療部長としての苦労や醍醐味を教えてください。

五十嵐 一般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当院でも検体採取を実施することとなりました。内科系の診療部長として各診療科の医師長に対しお願いをする立場でしたが、検体採取は非常にリスクを背負う仕事で、感染症や呼吸器内科以外の診療科の医師方の協力いただけるかと心配をしていました。しかし各科の長の先生からは快く協力が得られ業務を遂行することができました。このように内科全体で協力し1つのことに取組んでいくことは1つの苦労でもあり醍醐味でもあると言えます。

林 今までは自身の診療科が最優先で物事を考えてきましたが、診療部長となつてからは病院全体の状況を踏まえて対応を考えなくてはならないことが多くなりました。1つの診療科だけでなく、大きな病院という組織のことを考えなくてはいけないのが苦労であり、醍醐味でもあります。

「地域のよろず病院」+

「専門医療提供」の2本柱

―市立敦賀病院の強みについてどう考えていらっしゃいますか。

五十嵐 私が着任した時は医師数も少なく、より多くの患者さんからのニーズに応えることが困難な状況にありましたが、近年呼吸器内科を始めとした当院の医師数も増えたことにより多くの患者さんのニーズに応えられるようになりました。

まだまだ成長過程ですが、ここま

で成長してこられたことは、着任当時を知る医師として非常に誇らしいと思いますし、病院幹部の尽力の賜物だと思えます。

また、病院スタッフにおいても、各種

診療部長(外科系)

林 泰生 はやし やすお

福井医科大学を卒業後、福井県済生会病院や恵寿総合病院を経て2007年市立敦賀病院に赴任。消化器外科部長を経て2020年4月より現職。



診療部長(内科系)

五十嵐 一誠 いがらし かずなり

自治医科大学を卒業後、診療所を含めた地域医療に約15年従事し、2008年市立敦賀病院に赴任。呼吸器内科部長を経て2020年4月より現職。



委員会やカンファレンスも積極的に開催し、各部署が熱心に問題解決に取り組んでいます。特に看護師さんについてはよく勉強してくれて、また協力的であるため働きやすいと感じます。当院が地域の医療を支え先導していかねばならない立場であるという意識を持って取り組んでもらえていると思います。

林 診療科間の垣根が低く、常に相談がしやすい体制であること、また医師だけでなく、看護師や薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、リハビリスタッフ、臨床工学技士、メディカルソーシャルワーカー、事務職員などスタッフのモチベーションが高いことが当院の強みであると思います。

地域の中核病院として
皆様の要望を受け入れる

「今後果たしていくべき敦賀病院の役割についてはいかがでしょうか。」

五十嵐 嶺南地区は嶺北と違い総合病院も少なく、そうした中で当院が担わなければならない分野は幅広い

と考えられます。救急部門はその最たるところではありますが、今後はそれ以外にも在宅・訪問診療などにも目を向けていかねばならないと考えております。

林 「地域のよろず病院+専門医療提供」の2本柱を果たすべきと考えます。外科で例えますと、虫垂炎や胆石胆のう炎、鼠径ヘルニアなど日常的な良性疾患から、消化器がんや多発外傷など高度専門医療を必要とする疾患まで幅広く対応することが必要と考えます。

五十嵐 近年、当院の担う役割が年々大きくなってきており、嶺北の病院のみではなく、地域の中核病院として嶺南にいながらにして嶺北と遜色ない医療が受けられるように体制を強化していきたいと考えております。

林 また、地域連携も大きなテーマであると考えています。とにかく二州地区唯一の総合病院であることを肝に銘じ、地域住民及び地域医療機関の皆様の要望をまず無条件で受け入れることができる体制づくりに全力を注ぎたいと思います。そのためには現在ある様々な問題をひとつひとつ

解決できればと考えています。

「病院の役割についての回答の中で五十嵐診療部長から救急部門の発言がありました。救急体制についてはいかがでしょうか。」

林 現在夜間・休日は2名の医師体制をとっており、24時間365日救急対応しております。当院は二次救急医療機関ですが、当地区には三次救急医療機関がないため、三次救急医療機関と同等の受入れを行っており、二州地区管内で約70%になる年間2000台以上の救急車を受け入れています。救急では救命を優先とする初期治療を原則としておりますので、通常外来のようにすべての疾患に対して専門的な診療を提供することは困難であることについて、地域の皆様にはご理解いただきたいと思っております。

五十嵐 林診療部長からあったように時間外の救急について、現在内科系・外科系の二人体制で日当直医対応を実施しており、お互いの協力が不可欠な状況です。専門分野も様々な医師がおりますので、診療部長として救急体制を守るために医師の調

整を林診療部長と行っていきたいと思っております。

患者さんへの感染や

院内感染を予防するために

「先ほど五十嵐診療部長より「新型コロナウイルス感染症」について触れられていましたが、当院における影響はお二方から見ているでしょうか。」

五十嵐 病院スタッフは日々危険と隣り合わせであるため、手洗い・マスクによる感染防御を徹底して診療にあたっています。また、当院を受診されるすべての患者さんに対し検温などを実施しご協力いただいております。検温させていただくスタッフは医師・看護師・医療事務職一丸となって実施しております。

私は新型コロナウイルス感染症対策の実働部隊の責任者として、行政の方針や医療の在り方が目まぐるしく変わっていく中、対応を迫られております。

例えば「発熱されている患者さん全員に対しPCR検査をすべきなのかどうか？」「新型コロナウイルスへ

の感染が疑わしい患者さんなどの対応をどうするか？」等が挙げられますが、当然自分一人では対応できません。日々周辺地区の派生状況等の情報収集を行い、感染制御センターをはじめとしたチームの方々とミーティングを通じて情報共有しながら業務をこなしております。

林 五十嵐診療部長からもあったように来院時の検温や面会制限など患者さんやご家族の皆さんには多大なご負担をお願いしております。しかし、当院で院内感染が発生し、診療が停止した場合には、地域全体の医療が滞る可能性があります。よって院内感染防止のため、ご理解いただきたいと思っております。

また、新型コロナウイルス感染症対策として発熱されている患者さん向けの外来を設置いたしました。受診される多数の患者さんへの感染や院内感染を予防するために、症状があつて当院への受診を希望される患者さんにつきましては、事前に電話での連絡や発熱外来受診予約をお願いしたいと思っております。

頼りがいのある病院として 存在感を発揮していきたい

「最後に診療部長としてこれからの抱負をお願いいたします。」

五十嵐 内科の医師数は増えていますが、林診療部長が取組まれている救急や訪問診療など今後ニーズが増える部門に対しても可能な限りバックアップしていき、地域の中核病院として嶺南にいながらにして嶺北と遜色ない医療を受けられるような体制を整備していきたいと考えています。

林 新型コロナウイルス感染症を始め、医療機関は大変な状況にありますが、当院はよろず病院かつ専門病院の両方の機能を有する必要があると考えております。地域医療機関からの要望を受け入れる体制を整え、かつできるだけ二州地区で医療が完結できるように努力し、頼りがいのある病院として存在感を発揮していきたいと思っております。また救急部門や訪問診療についても五十嵐診療部長をはじめとした内科医の先生方と協力して取り組んでいきたいと考えております。



Special feature

『新生』呼吸器内科チーム

当院は嶺南唯一の呼吸器内科を持つ病院です。

呼吸器内科では肺がん、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（在宅酸素療法を含む）の診断と治療をおこなっています。特に肺がんの早期診断には病診連携を最も大事にし、複合医療機器を使用しながら早期がんの発見と治療に専念しています。これからも嶺南にお住まいの患者さんへ、急性期としての高度な呼吸器診療の提供を行って参りたいと思います。

以前の呼吸器診療は、高橋理事と五十嵐診療部長の2名体制にて行っていました。今年度からは新たに佐藤医師、中嶋医師、藤井医師の3名をお迎えし、新生呼吸器内科チームとして肺がんを始めとした呼吸器疾患の検査と治療に取り組んでおります。同じく高橋理事におかれましては総合健診センター長として全般的な疾患の早期発見に尽力されております。

先般からの新型コロナウイルス感染症の終息は見込めず、地域の住民の皆様も不安な日々を送られていることと思います。呼吸器内科として感染制御センターを始めとした各関

係部署と連携しながら今後も対策を講じてまいります。

今後も、市民の方々ははじめとした嶺南のみなさんに信頼される呼吸器診療を提供できるよう取組んで参りますので、困ったことがあれば是非ご相談ください。

●取扱症例

肺癌／気胸／睡眠時無呼吸症候群／誤嚥性肺炎
細菌性肺炎／間質性肺炎／膿胸／肺腫瘍
慢性閉塞性肺疾患／アスペルギルス症
中皮腫／縦隔炎

●令和2年度上半期 検査件数

スパイロメトリー:706件／可逆性試験:54件
精密肺機能検査:51件／気管支鏡検査:45件
胸腔鏡検査:6件／気管支性生検:33件
気管支細胞診:50件／リンパ節生検:4件
胸膜生検:5件



高橋 秀房 理事（総合健診センター長）

嶺南地域の呼吸器診療は 私たちにお任せください。

呼吸器内科新任医師の紹介

医師 中嶋 康貴

なかしま こうき

大学卒業後、杉田玄白記念公立小浜病院・福井大学医学部附属病院、福井赤十字病院での勤務を経て、本年度より当院で勤務させていただくことになりました。

呼吸器疾患は悪性腫瘍・アレルギー疾患・感染症等多岐に渡りますが、外科的治療を始め一部の検査・治療を除いては、当院で診断から治療まで完結できるような体制になっております。

市立敦賀病院の呼吸器内科チーム一丸となって嶺南地域の呼吸器診療のレベルをこれまで以上にアップさせるべく尽力して参りたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

医師 佐藤 譲之

さとう まさゆき

大学卒業後、嶺北の病院を経て地元である敦賀に戻って参りました。医師として、患者さんの病気のみを診るのではなく、その背景を踏まえた診療が出来るよう心掛けています。

呼吸器内科で診療する疾患は多岐にわたります。それぞれの疾患について、一般的な診療や画像検査から、気管支鏡検査・胸腔鏡検査や胸腔ドレナージ等の専門的な検査や治療まで、一貫した診療が出来ることが当院での呼吸器診療の魅力だと感じています。

現在一般的に行われている検査や治療のほとんどは当院で可能です。嶺南地域の呼吸器診療のお役に立ちたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

医師 藤井 裕也

ふじい ゆうや

当院に赴任し半年が経とうとしておりますが、実に学ぶところが多く、熱心な先生方・スタッフの皆様で囲まれて良好な環境を実感しております。

本年度より赴任となった同僚医師と共に、更に充実した体制で幅広い呼吸器疾患診療を行っております。中でも呼吸器内視鏡検査は人手のかかるものですが、当院では超音波内視鏡（EUS）や局所麻酔下胸腔鏡を用いて低侵襲で診断性に優れた検査を行っており、肺がん・間質性肺炎・呼吸器感染症・原因不明の難治性胸水などの診断・治療を行うことができます。ご高齢な患者さんでも身体への負担を最小限にとどめつつできる検査でありますので、ぜひお声がけください。



藤井 裕也 医師



佐藤 譲之 医師



中嶋 康貴 医師



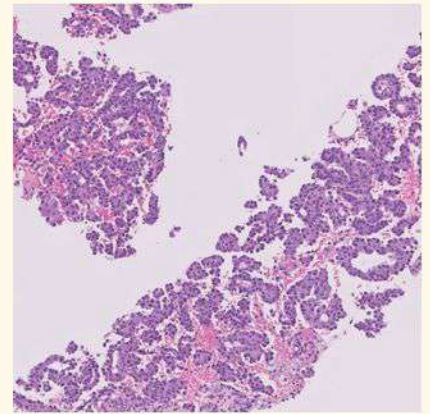
腹腔鏡検査の様子



服薬指導の様子（薬剤室）



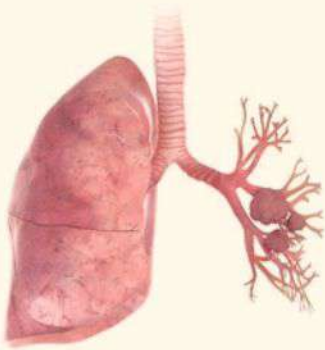
CT機器 ※イメージ



病理検査顕微鏡写真

**敦賀病院は肺がん治療に
力を入れていきます**

2018年に本庶佑先生のノーベル医学生理賞で話題になったオプジーボなどの免疫チェックポイント阻害剤をはじめ、近年の肺がん治療の進歩は目覚ましいですが、その一方で全ての肺がん患者さんにその恩恵が受けられるわけでは無いことも事実です。年齢や性格、社会背景等を踏まえて、その患者さんにベストの治療を提供できるよう、スタッフ一同努力して参ります。また、福井大学医学部附属病院及び福井赤十字病院が共同で、肺がん治療の臨床試験も行っており、最適な治療選択のための研究活動にも積極的に参加しております。肺がんに関しての御相談があればいつでも受け付けておりますので、いつでもご相談ご紹介ください。





Learn
medical care

肺がんの発見・治療から 早期回復に向けて

市立敦賀病院では、日々多種多様な肺がんの検査・治療を行っています。その中でも、今回は呼吸器疾患のある方に関連する4つの部門について解説していきます。

01 放射線室

(1) 胸部X線検査

肺がんが疑われる場合、基本的にはまず撮影するのが胸部X線写真になります。非常に少ない放射線量で肺の状態を観察することができます。

(2) CT検査

検診や臨床症状で撮影されたレントゲンで肺がんが疑われた場合、CTで追加検査を行います。

(3) 透視検査

胸部レントゲン写真やCT等により発見された肺がんを疑う病変に対し、気管支鏡や胸腔鏡を用いて観察・生検を行います。検査中は病変組織を生検するため、出血や

気胸等のリスクがあります。そのため、検査1時間後には必ず胸部レントゲン写真を撮影し、合併症が起きていないかの確認も行っています。

(4) 放射線治療

当院での放射線治療の診療は、最初に該当の専門科を受診いただき、主治医と治療方針を決定の上、放射線治療医の診察を受ける体制となっております。「診察」「治療計画」「照射」「治療期間中の診察」「経過観察」の5つで成り立っています。「治療計画」には約1時間、毎日（休日除く）の照射には約15分を要します。治療期間は患者さんにより異なりますが、概ね1月半です。途中で

休止期間があると効果が低くなる

ことがありますので、患者さんと一緒に頑張っていくという気持ちで、気持ちに寄り添いながら治療に携わっています。

02 検査室

肺がんが疑われた患者さんには、診断を確実にするために呼吸器内科医師が気管支の中に細いカメラを入れて、がんを疑う部分の細胞を採取します。採取された細胞を臨床検査技師が顕微鏡で観察できるようにし、病理医が診断を行います。また、細胞診という検査では細胞検査士がスクリーニング（がん細胞を探す）し、細胞診専門医が診断をします。

03 薬剤部

呼吸器科病棟において薬剤師は、肺がんに関する化学療法マネジメントや喘息・COPD

（慢性肺疾患）などの薬物治療支援を医療スタッフと協働して、実施しています。

がん治療を行う患者さんには、副作用・スケジュールをきちんと説明し、納得して治療を受けていただけるようサポートしています。

投与後も病室に訪問し、副作用確認を行っています。退院後も安心して生活していただけるように院外の薬局とも情報共有シートを利用して、入院中の患者さんの様子を伝え、今後の外来治療に生かしてもらっています。



Respiration Support Team

呼吸ケアサポートチーム RST

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

看護師 若山しのぶ

わかやま

人工呼吸器の

早期離脱に向けて

チームで取り組みます

呼吸ケアサポートチーム・RSTは、人工呼吸器を装着した患者さんを対象に医師、看護師、理学療法士、臨床工学技士などの多職種で連携する、3学会合同呼吸療法認定士というさまざまな条件をクリアしたスタッフによって構成されているチームです。

人工呼吸器の装着期間が長期化すると人工呼吸器関連肺炎などの有害事象が増えるため、多職種メンバーがそれぞれの視点から早期離脱に向けた介入を行います。

当院では、毎週木曜日にRSTで

回診を行い、適切な人工呼吸器設定や安全管理がなされているか、人工呼吸器関連の合併症予防が適切に行われているかを確認し、助言をしています。

各メンバーが、「患者さんの呼吸を楽にしてよりよく生きていけるために」という目的のもと、呼吸器症状でお困りの方の全快に向けてチーム一丸となって取り組んでいきます。

チーム構成

● 呼吸器内科医師 — 2名

● 看護師 — 2名
(慢性呼吸器疾患看護認定看護師1名)

● 理学療法士 — 2名
(3学会合同呼吸療法認定士2名)

● 臨床工学技士 — 1名
(3学会合同呼吸療法認定士1名)



Kirameki Iryojin

きらめき 医療人

窪田 いづみ

笑顔が素敵な
若手薬剤師

窪田さんは若手が多く活躍する薬剤室
の中で業務を着実にこなしています。

笑顔がやわらかく、おっとりして見える
反面、業務外では音楽活動をしており、
パーカッションを担当するなどアグレッシ
ブな一面も持っています。率先してスタッ
フでの飲み会や交流会を企画するなどリ
ーダーシップもあり、敦賀出身であることか
ら、院内に友人も多くいます。

日常業務では、調剤業務、抗ガン剤の調
製、服薬指導（病棟）をこなしています。泌
尿器疾患の患者さんを対象にした多職種
チームに所属、また感染症対策チームに
入ってノウハウの習得に取り組んでいます。



彼女は現在3
年目。日々様々な
患者さんのニ
ーズに應えるため、
薬剤室は忙しい
日々が続く中、欠
かせない存在と
なっています。



抗がん剤の調製



監査



服薬指導



調剤

新任医師紹介

New Doctor

外科医師

矢尾 祥子

やお しょうこ



専門分野

乳腺外科

所属学会・資格

・日本外科学会 ・日本乳癌学会 ・日本癌治療学会
・日本外科系連合学会 ・日本臨床外科学会 ・北陸外科学会

これまでの経験を生かし、嶺南地域の乳腺診療に従事させていただきます。皆様のお役に立てますよう頑張りますので、よろしくお願いたします。

泌尿器科医師

嶋田 彩保子

しまだ さほこ



専門分野

泌尿器科

所属学会・資格

・日本泌尿器科学会

皆様が症状やお困りのことなど、相談しやすい外来になるよう心がけて頑張ります。よろしくお願いたします。

小児科医師

福岡 諒

ふくおか りょう



専門分野

小児科一般

所属学会・資格

・日本小児科学会

初めて敦賀市で働くこととなりました。少しでも敦賀の小児医療に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。

産婦人科医師

荒木 皓光

あらき ひろみつ



専門分野

産婦人科一般

所属学会・資格

・日本産科婦人科学会

これまでの経験を生かし、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

外科医長

横井 繁周

よこい しげひろ



専門分野

乳腺・内分泌外科、消化器外科

所属学会・資格

・日本乳癌学会(乳腺専門医・認定医) ・日本外科学会(外科専門医) ・日本消化器内視鏡学会(消化器内視鏡専門医) ・日本乳腺甲状腺超音波診断会議乳房超音波読影医 ・マンモグラフィ検査精度管理中央委員会認定読影医 ・日本消化器外科学会 ・日本消化器病学会 ・日本臨床外科学会 ・日本癌治療学会 ・日本肝胆膵外科学会 ・日本人類遺伝学会

乳腺外科として、東京でも研鑽してきた技術と知識を持って、温かく包み込むような乳腺診療を展開していきたいと思ひます。

意外と知らない？

正しいマスクの知識

正しいマスクの「着け方」

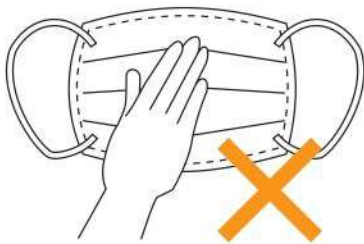
- ① ノーズピースがある方を上にし、ブリーツ部分が下向きになるよう立体に広げます。(ブリーツ部分が上向きになるとウイルスや埃が溜まる恐れがあります。)
- ② 顔にマスクをあて、ノーズピースを鼻の曲線に沿って折り曲げ隙間を防ぎます。
- ③ そのままマスクを顔に当てた状態で耳ゴムを耳にかけます。



隙間を作るとそこから PM2.5 などの細かい粒子が入りやすくなったり。くしゃみなどの際に出るしぶきが周りに飛散しますので、隙間をなくすようにしましょう。

正しいマスクの「外し方」

- ① ゴムの部分を持って耳から外し、フィルター部分に触らないようにして捨てましょう。
※廃棄の際には、ビニール袋に入れて捨てるか蓋のついたゴミ箱に入れるようにしましょう。
- ② すぐに手を洗いましょう(30秒)。



使用後のマスクは、汚れが付着している可能性があります。外す際にその事を意識していない場合がほとんどですので、触れる部分には十分注意し、外した後は手洗いと消毒をするようにしましょう。

ひだ(プリーツ)の種類

ひだの種類には〇型と階段型の2種類があり、〇型はすべてのひだが山型に出っ張っているのが特徴です。こちらの型では山になっている方が表側(外気とふれる側)となります。

階段型ではひだが下向きになっている方が表側となります。(ひだが下を向いているとウイルスや花粉などが下に落ちていきやすくなります。逆向きに着用するとポケットのようになってたまってしまいます)

耳かけの接着部分

紐の接着部は表側、マスクがなるべく肌に密着するようになっていきます。(一部例外もございます)

イラストや文字のあるマスク

マスクにイラストや文字(製造メーカー名)が刻印されている場合は、イラストがしっかり見える方もしくは文字がちやんと読めるように見えるのが表側です

編集後記

令和2年度も半年が経過しても肌寒くなって参りました。新型コロナウイルス感染症対策とともにインフルエンザ流行時期を迎え、ますます感染症対策が欠かせない状況となっております。県内では各医療機関にて発熱外来を設置することとなり、当院でも11月1日から運用を開始しております。まだまだ不安な日々が続きますが、来年はみなさんにとって希望がふれる年となるようお祈り申し上げます。



きらめき 市立敦賀病院 広報誌

発行：市立敦賀病院 / 企画・編集：市立敦賀病院広報委員会
©2020 市立敦賀病院
本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。



市立敦賀病院
公式ホームページ
<http://tsuruga-hp.jp>